

地域を彩る食支援

1) 特別講演「作ってみよう嚥下調整食！」

講師：在川一平先生（介護食シェフ）



2) 教育講演「歯科医が繋げる地域支援」

講師：林恵美先生 田中洋平先生

▶ 神奈川歯科大学附属病院 全身管理高齢者歯科

3) 一般講演「安全に飲み込むために

多職種で共有したい薬の知識」

講師：白鳥千穂先生

▶ 横須賀市立市民病院 薬剤部

講演・演題終了後
パネルディスカッションがあります

日程：2023年9月16日(土)13:20～16:45 (受付開始13:00～)

会場：神奈川県立保健福祉大学 講堂

横須賀市平成町1-10-1 県立大学駅徒歩7分

参加費：1,000円 (当日徴収)

参加申込：右のQRコードから参加登録ください

会場案内図



事前参加登録
QRコード



特別講演 「作ってみよう嚥下調整食！」

嚥下調整食の調理に関するノウハウを「食」にかかわる多くの方へ届けることができれば、嚥下調整食を必要としている方がどれだけ「食」に関して悩まずに済む世の中になるでしょうか。その願いを実現するために、介護食品メーカーの企画チームの一員として働く傍ら、介護食シェフとして全国で活動をしています。

本会では、『嚥下調整食学会分類2021』を現場（厨房や在宅シーン等）に落とし込んでいただけるよう、解説だけではなく実際の調理デモンストレーションも交えお届けします。

ご興味を持たれた方は、一緒に普及に取り組み、嚥下調整食の面から世の中を元気にしていきましょう。



介護食シェフ
在川一平先生

教育講演 「歯科医が繋げる地域支援！」

「人生の最後まで口から美味しく食べたい！」そのような思いに寄り添い、口腔機能の管理や口腔内のトラブルを解決することが歯科医師の使命だと考え、日々、訪問歯科診療を行っています。口腔疾患の治療はもちろん、口腔機能、嚥下機能の評価だけでなく、多職種で食事場面を観察し、食事環境や食事姿勢を評価することで、様々な意見の交換を通じて、安全で楽しい食事環境を作るための適切な指導、必要な支援の提供へ繋げていければと考えています。在宅医療を受けている方が抱えている口腔内のトラブル、口腔ケアの必要性についてなど、歯科から繋げる支援についてお伝えします。



神奈川歯科大学附属病院
全身管理高齢者歯科
林恵美先生 田中洋平先生

一般演題 「安全に飲み込むために多職種で共有したい薬の知識」

飲み込みにくくなったら飲み込みやすい食事を食べる、そんな当たり前のことが薬を飲むときにも出来ていますか。薬剤師は飲み込みやすい剤型や飲み方の知識を持っているのに、患者さんは薬を飲むことに困っています。口腔内崩壊錠や簡易懸濁法の利用など、薬を安全に服用する方法はたくさんあります。ペースト食が食べられるなら薬もペースト状にすればいいのです。

安全に飲み込める薬を患者さんに届けるには、医師、薬剤師、介護者等、多職種が情報を共有し連携することが重要です。そのために多職種で共有したい薬の知識をお伝えいたします。



横須賀市立市民病院
薬剤部
白鳥千穂先生

日程：2023年9月16日（土）13:20～16:45（受付開始13:00～）

会場：神奈川県立保健福祉大学 講堂

横須賀市平成町1-10-1 県立大学駅徒歩7分

参加費：1,000円（当日徴収 右のQRコードから参加登録のご協力をお願いいたします）

問い合わせ：横須賀地区事務局  yokosukaenge@yahoo.co.jp

